

PT930とPCのIrDA(赤外線)によるActiveSync接続の方法

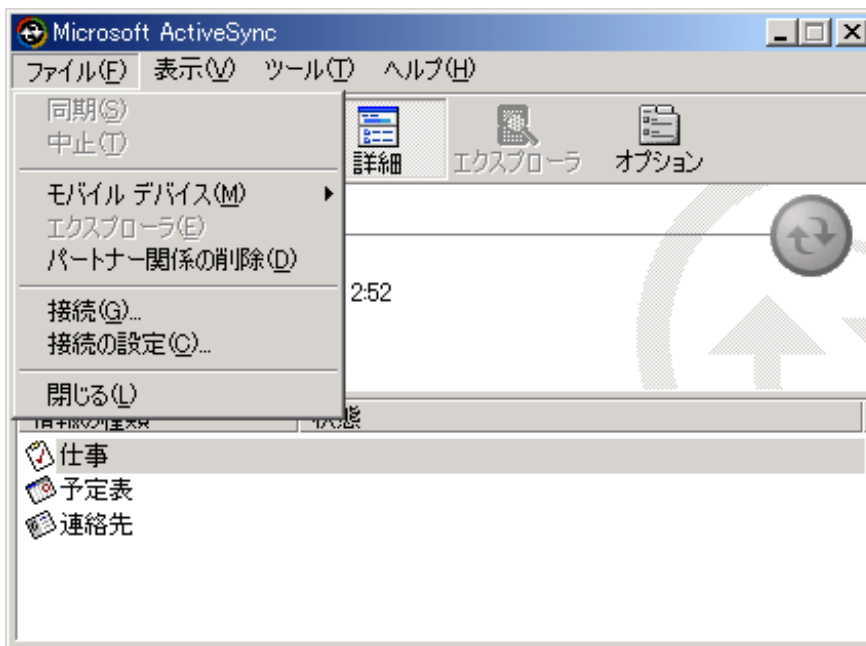
赤外線インターフェースを持つPCとPT930の赤外線ポートをActivesync接続するには以下のような設定を行います。

1. PC側の設定

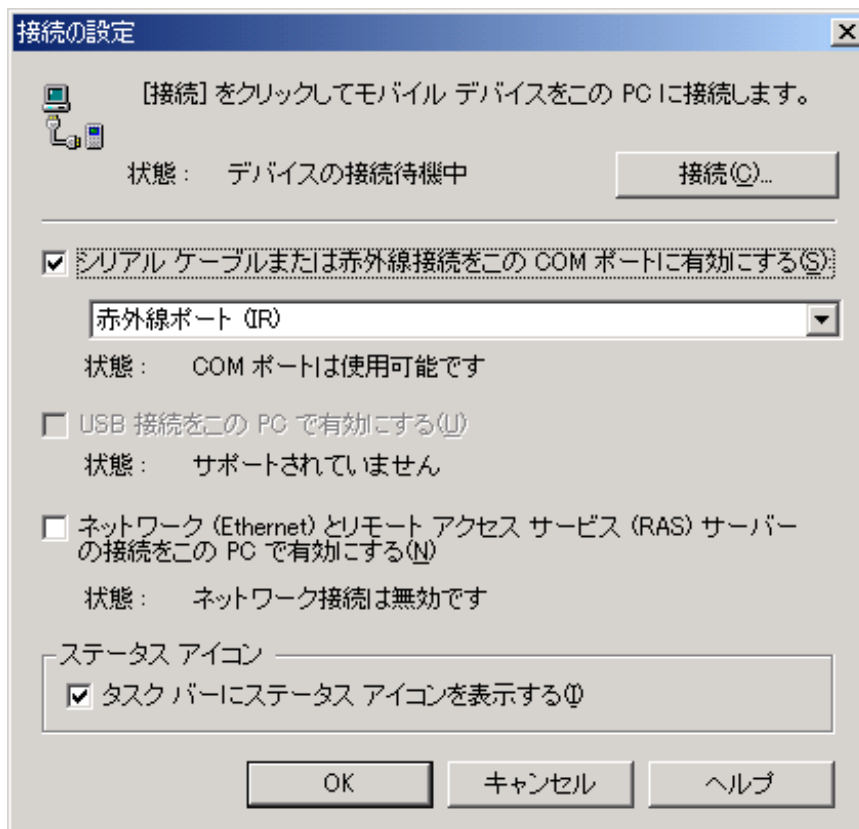
1.1 Activesyncのインストール

Micorsoftのwebサイト http://www.microsoft.com/japan/mobile/downloads/files/as-eula_ja.asp から Activesyncのプログラムをダウンロードして下さい。Microsoftの指示に従ってインストールして下さい。

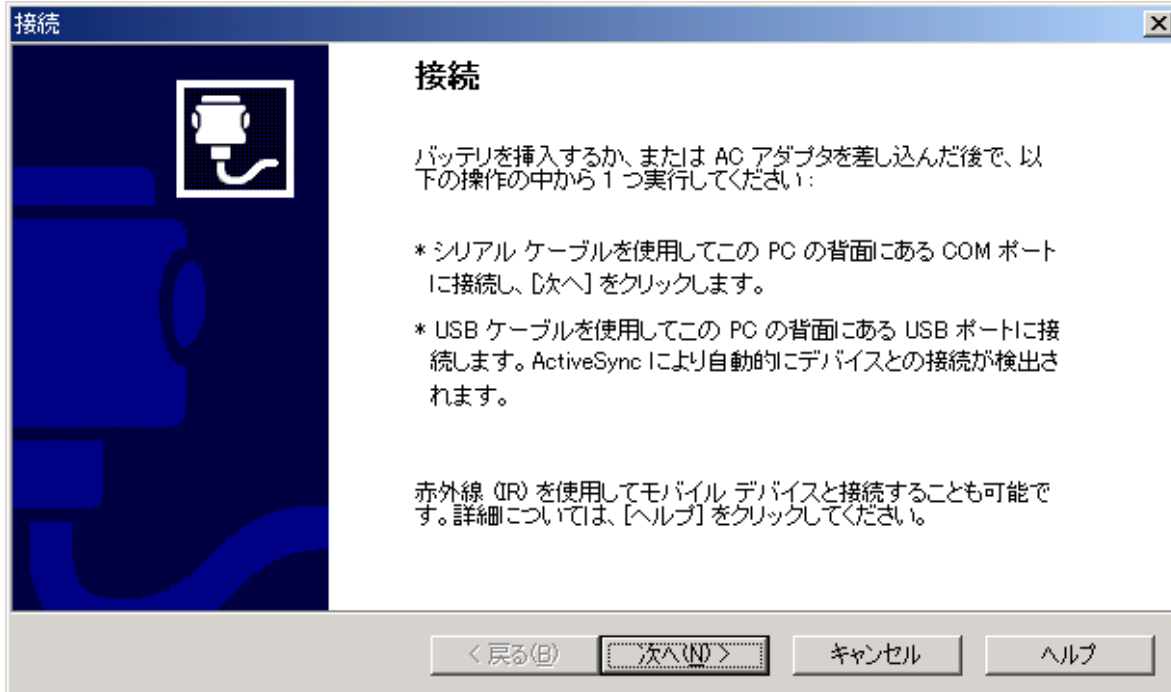
1.2 Activesyncを起動し、ファイル - 接続の設定を選択します。



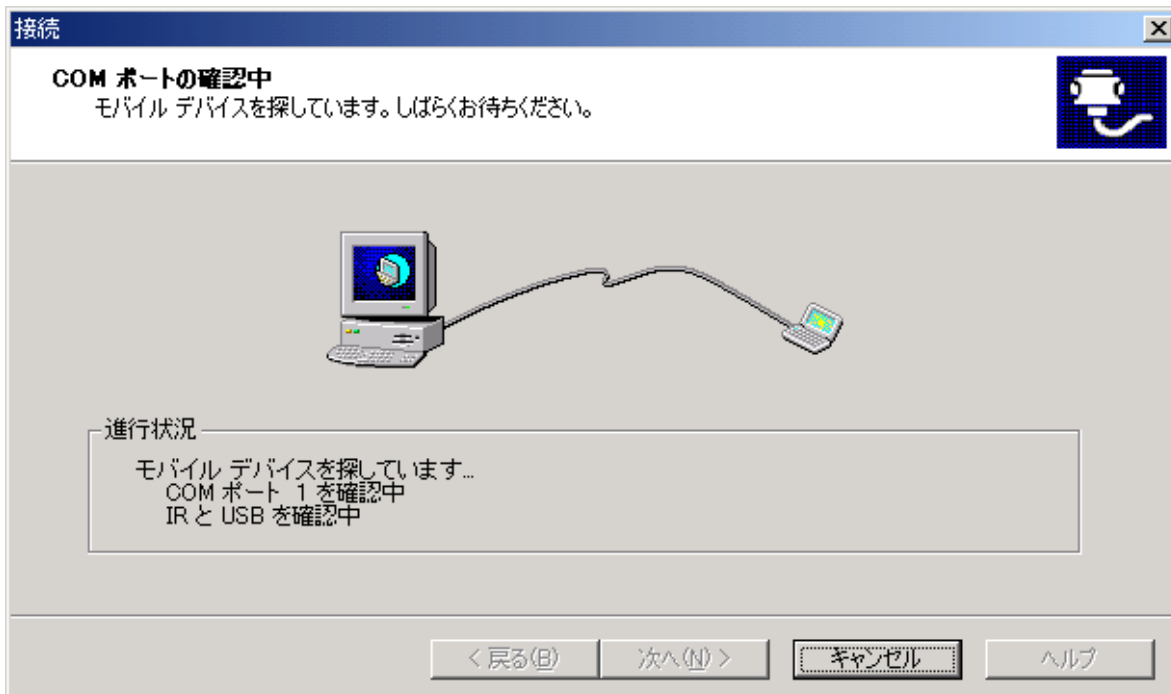
- 1.3 接続の設定で、「シリアルケーブルまたは赤外線接続をこのCOMポートに有効にする」にチェックを付け、赤外線ポート(IR)を選択します。



- 1.4 メニューからファイル - 接続を選択して、OKをクリックして下さい。



次へをクリックして下さい。接続の確認が始まります。



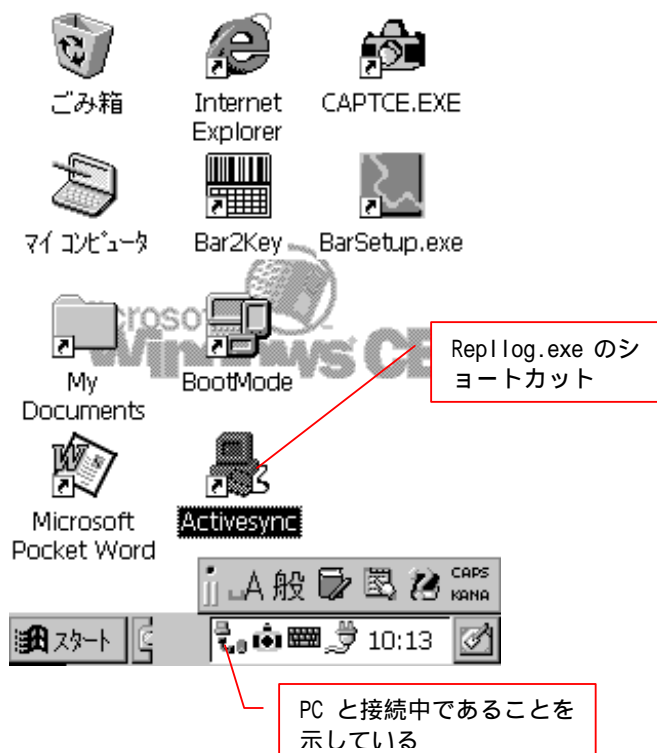
2. PT930側の設定

2.1 赤外線ポートでActivesync接続する場合、PT930側でもプログラムを起動しないと接続されません。接続プログラムは windows フォルダにあるrepllog.exe です。このプログラムを起動しやすいようにデスクトップにショートカットを表示させておくか、タスクバーのプログラムに入れます。そしてわかりやすいタイトルをつけておくとよいでしょう。例えば、PCリンクまたはActivesyncなどの名前を付けます。(この作業はPCと接続してからActivesyncのエクスプローラを使用すると便利です。赤外線接続する前にいったんRS232で接続をさせ、この準備をしておくとも便利です。)

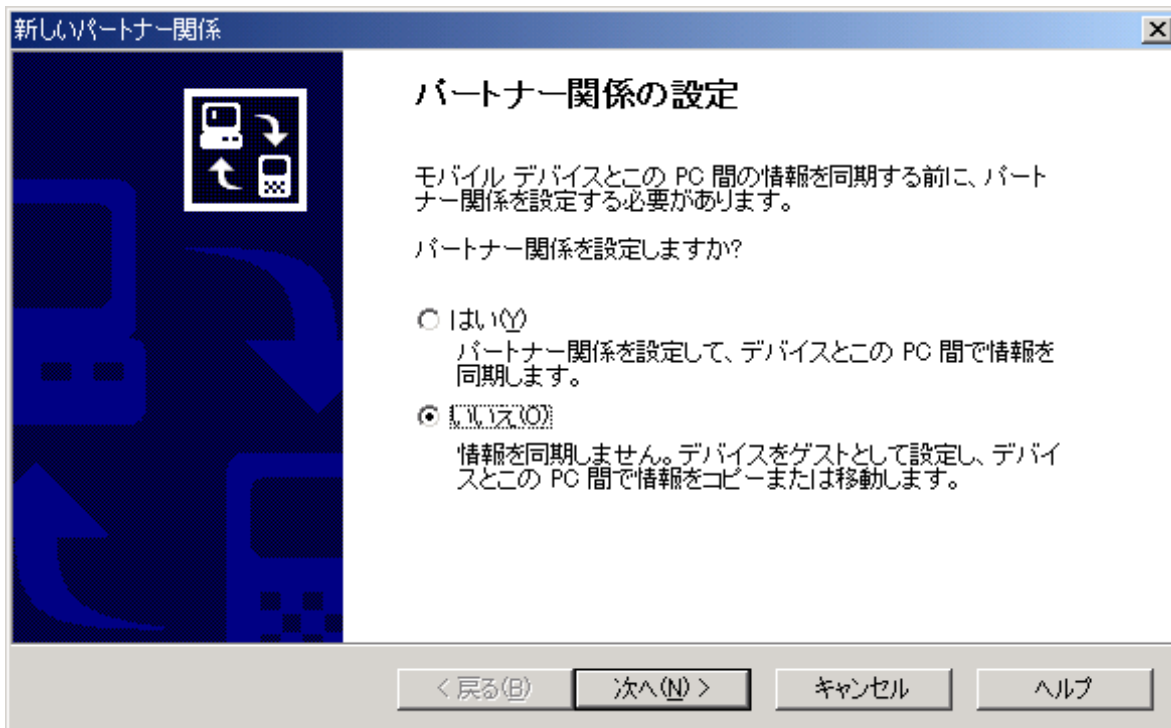
2.2 PC側のActivesyncの接続とほぼ同時にPT930側のrepllog.exeを起動します。

PCの赤外線ポートとPT930の赤外線ポートがしっかりと向き合っていることを確認して下さい。

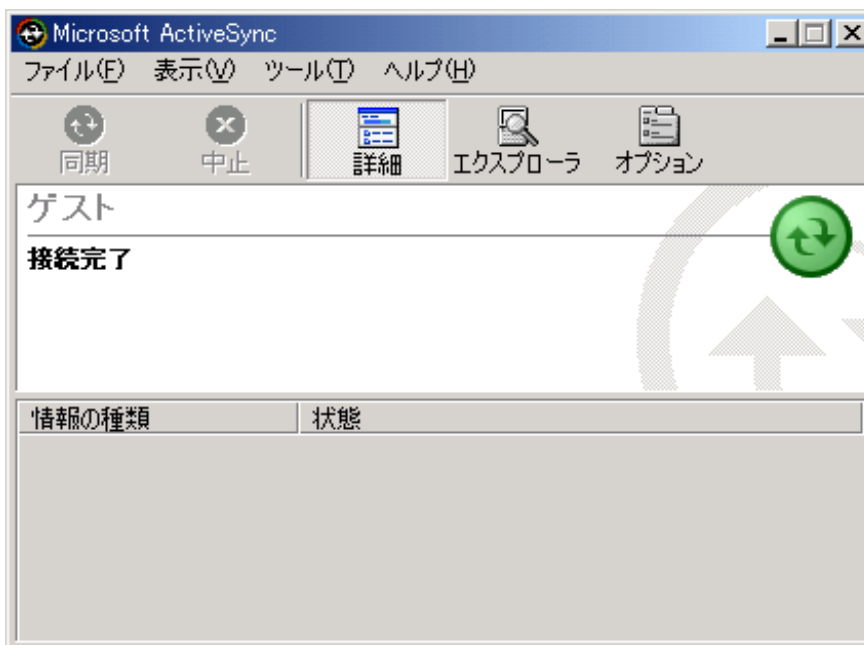
2.3 接続が行われると、最下部のステータスの欄にマークが付きます。



3. 接続が成功すると、PCの画面は以下のように表示されます。



次へをクリックして下さい。



タスクバーは以下のように表示されます。



4. テストした環境

PC: FMV-BIBLO MF6/600R

OS: Windows 2000 Professional

IrDAインターフェース: U2IrDA (DELTRON社製、シーエフ・カンパニー(株)販売) - USBにて接続

PT930(Windows CE 3.0 日本語版)